

あなたの胃は大丈夫？ 胃がん検診でチェック！

▷問い合わせ 健康づくり係 (☎223 - 3533)



日本の死亡原因第1位の「がん」。2人に1人が生涯で1度はがんになると言われています。

今回紹介する「胃がん」は、かつてはがんによる死亡数の第1位でしたが、診断方法と治療方法の向上により、現在は第4位となっています。

胃がんは、早期発見できれば90%以上が治るがんですが、自覚症状がない初期の段階で発見するためには、がん検診の受診が欠かせません。

○胃がんの原因

- ・ヘリコバクターピロリ菌への感染（※感染した全ての人が胃がんになるわけではありません）
- ・塩分の摂りすぎ ・肉や魚の焦げの摂取 ・野菜、果物の摂取不足 ・喫煙 ・過度の飲酒
- ・不規則な食習慣（夜食・早食い・食べすぎ）

ひとつでも当てはまる人はもちろん、当てはまらなくても、40歳以上の人は、がん検診の受診をお勧めします。

○芦屋町で受診できる胃がん検診

胃がん検診には、バリウムを使用した胃透視と胃カメラの2種類があります。自分に合った方法をどちらか一つ選びましょう。



種類	胃透視	胃カメラ
対象年齢	40歳以上	
費用	800円	2300円
検査方法	バリウム（造影剤）と発泡剤を飲んで、胃の内部をX線で撮影します。	小型のカメラがついた細い管を口から挿入し、食道・胃・十二指腸を直接観察します。※苦痛を軽減するために鎮静剤を使います。（希望者のみ）
分かること	・胃の形 ・粘膜の状態・変化	・粘膜の微細な変化 ・凹凸の少ない病変 ・出血 ・がんが疑われる病変の場所や範囲、深さ
要精密検査の判定が出た場合	詳しく検査をするために胃カメラの受診が必要です。	胃カメラが精密検査になるので、要精密検査の判定が出ることはありません。

※がん検診による体への負担は個人差があります。また、ピロリ菌感染の検査は、別途料金がかかります。詳しくは医療機関に問い合わせてください。

外国人の人権を尊重し、 差別のない社会をめざして



日本には、さまざまな国や地域から来た外国人が暮らしています。働くため、学ぶため、家族とともに生活するため、多くの人が地域社会の一員として貢献しています。しかしその一方で、外国人であることを理由とした差別や偏見、誤解により、日常生活の中で困難を抱えることも少なくありません。

たとえば、言葉が通じないため十分な医療や行政サービスを受けられなかったり、就職や賃貸住宅の契約を断られたりする事例があります。また、インターネット上での誹謗中傷^{ひぼう}や、文化・宗教への無理解によるトラブルも見られます。こうした行為は、外国人の人権を侵害するものであり、決して許されるものではありません。

憲法は、すべての人に基本的人権を保障していて、それは国籍にかかわらず尊重されるべきものです。さらに、国際的にも「人種差別撤廃条約」などにより、あらゆる差別をなくす努力が求められています。

私たち一人一人が、多様な文化や背景を持つ人々と共に生きる社会の中で、互いを理解し、尊重する姿勢を持つことが重要です。「知らない」ことが差別や偏見の原因になることもあります。相手の立場になって考え、違いを認め合うことから、真の共生社会が始まります。

誰もが安心して暮らせる社会は、外国人にとってだけでなく、すべての住民にとって暮らしやすい社会でもあります。多様性を力に変え、地域全体で支え合う社会を一緒に築いていきましょう。

芦屋町人権・同和教育研究協議会

▷問い合わせ 社会教育係

(☎223・3546)

受けてますか？がん検診。
町の補助を活用して
お得に受けましょう♪



○実施医療機関

芦屋中央病院

☎222-2932（予約専用）

平日：毎日

休日：10月5日☎・11月30日☎・

令和8年2月14日☎

※胃カメラは平日のみ

ネット予約はこちらの2次元コードから



△【健診・検診】
申し込みフォーム



他のがん検診、特定健診なども一緒に受診できます。詳しくは、折り込みチラシ「芦屋町からけんしんのご案内」をご覧ください。

～お知らせ～

7月から、芦屋中央病院で子宮頸がん
検診が受診できるようになりました

- ・対象：20歳以上の女性
- ・自己負担金：400円
- ・検診日：毎週金曜日、10月5日☎、
11月30日☎
- ・予約先：芦屋中央病院
早期発見・早期治療で自分の命を守るため、2年に1度は、必ず検診を受けましょう。